

デマンド交通「チョイソコカラタン」実証実験について

- 目的：公共施設巡回町民バス路線では網羅できない交通空白地帯の解消及びニーズの高い「病院・食料品スーパー等への乗入れ」に対応、結果分析により既存の公共交通（巡回町民バス・タクシー事業者）との共存を図る運営を検討
- 実施主体：株式会社トヨタオートモールクリエイト（TAC）
- 期間：令和3年10月1日から令和4年2月28日まで
※岐阜市境川（柳津・鶉・日置江）地区では令和3年4月2日より開始
- 運行エリア：笠松町全域
- 予定停留所：病院・買物・金融機関・町施設・公園・ゴミステーションなど 計40ヶ所
※設置負担金@5,000円/月（看板維持・管理費含む）が必要
実証実験中は町負担、終了後は一部を民間負担に移行（スポンサー協賛制度）
- 対象者：町民（及び柳津・鶉・日置江地区の住民、当該地区へ通学する学生）
※小学生以下は保護者同伴同乗、通塾使用は小学生のみ利用可
- 運行：8時30分から17時30分 水曜日・木曜日は運休
- 運賃：町内1乗車大人250円 小学生以下100円
岐阜エリアへは乗継ポイント「松波総合病院」にて「乗り継ぎ」（待合時間5分以内を予定）、プラス250円が必要
- 運行者：岐阜エリア運行会社「株式会社日本タクシー」を予定
- 岐阜エリア：岐阜市境川（柳津・鶉・日置江）地区・停留所71か所

今後のスケジュール

- 7月27日：笠松町地域公共交通会議「チョイソコカラタン運行の合意」
- 8月上旬～：事業所や町内会等へ停留所設置の協力依頼及び事前安全確認（4項目）
- 9月上旬～：広報紙「事業内容」掲載、住民説明会（9回）や「敬老のつどい」での事業周知及び会員登録受付、公共施設へ登録申込設置及び受付

実証実験では

各停留所における需要や利便性（安全性や快適性など）を検証、設置負担金の民間スポンサーへの移行、利用実績より実証実験後の運営手法などを検討します